

住 所	大山町赤坂764番地
事業所名	地域密着型通所介護ほほえみ
管理者名	堀江 隆幸

運営推進会議 開催報告書

次のとおり推進会議を開催しましたので関係書類を添えて報告します。

記

サービス 種別	※該当サービスをチェック		
	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	<input type="checkbox"/> 看護小規模多機能型居宅介護	
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	<input type="checkbox"/> 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
	<input type="checkbox"/> 地域密着型特定施設入居者生活介護	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型通所介護	
	<input type="checkbox"/> 地域密着型通所介護（療養通所介護）		
	<input type="checkbox"/> 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	介護予防	
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型通所介護	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
事業所名	地域密着型通所介護ほほえみ	事業所番号	3191500093
担当者	堀江 隆幸	電話番号	0858-49-3012
1 活動状況に関する評価 ※会議の評価を総括的に記載してください。			
利用延人数を明記し、利用状況が分かりようにする。どの曜日も定員が10名となるような働きかけを行うこと。総合事業の方の受け入れについて検討すること。			
2 主な要望、助言等 ※会議で委員が発言した主な要望、助言等を記載。			
①	事業計画に「必要な日常生活の支援や機能訓練を実施、利用者の心身機能向上と利用者の家族の負担軽減を図る」と記載しているが、具体的に取り組まれているのか。		
②	総合事業の方の受け入れを行わないのか。		
③	次回より各月の利用者の利用延人数とヒヤリハット件数を記載する事。		
④	要介護2と要介護3の違いは何なのか？		
⑤	定員10名ではあるが、空きはあるのか？		
⑥	保育所が目の前にあるが、交流は行わないのか？		
3 要望、助言に対する考え方 ※上記2に対する事業所の考え方を番号順に記載。			
①	当事業所では、希望者には個別機能訓練の実施と全利用者に対して、集団体操を実施している。改善することは難しいが、現在の身体的能力が維持出来るように努めている。又、一体的なケアの提供ではなく、独居の方の支援方法や同居の方の支援方法など考えながら、在宅生活の中にどの様な問題が潜んでいるのか理解し、そこに向けての支援を利用中に行っていきたいと思っている。単に通って終わりの事業運営は考えていない。		
②	総合事業の受け入れは行わないわけではないが、元気アップ教室事業も展開しているので、そちらの事業で利用方法のニーズ等に合わせて対応していきたいと考えている。		
③	延人数に関しては、記載はしていないが手元に資料があるため、口頭のみでの報告を行う。ひやりはっと件数に関しては、ひやりはっとが発生した場合には、ミーティングにて報告を行い対応しているが、書面に起こす事が出来ていない現状がある。次回より、ひやりはっと件数も併せて報告を行う。「ひやりはっととは」について簡単に説明を行う。		
④	身体的能力の低下によるものだけではなく、認知症の進行によっても介護度が変わるため、一概に〇〇だから介護度が決定するわけではない。		
⑤	現在、休まれている方も含めて、10名の曜日もあるが、曜日によっては10名に満たない日もある。パンフレットを作成しているので、定員10名になるように働き掛けを今後は行っていく。		
⑥	保育所交流については、通所介護ほほえみの時より交流を行っており、以前は毎月交流会があったが、今年度より園長先生が代わり、園としての考え方であったり、園児に掛かる負担を考慮して交流回数を減らして交流会は開催していく事になっている。しかし、現在は、新型コロナウイルス流行のため、交流会は控えている状態である。今後、どのタイミングで交流していくか検討していく。又、図書館が隣接しているため、図書館交流も行ってきたがこちらも新型コロナウイルスのため、交流を中止していたが、今月より交流が再開となった。		
4 その他特記事項 ※上記2に該当しないその他の主な事項を記載。			
①	駐在員より、地域の防犯・防災についての説明と、徘徊等が起きた時の町との連携体制について説明あり。又、事業所でも様子が変わってきた方が居れば情報提供を頂きたい。		